



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

掲示板法話

遇えてよかった 親鸞さま

真実の生まれ甲斐を教えられました

この三月末頃から、本願寺では「親鸞聖人ご誕生八五〇年、立教開宗八〇〇年慶讃法要」が始まり、五月二十一日まで6期、三十日間お勤まりになります。五十年前(昭和48年)のご誕生八百年法要の時は大規模な仮設参拝席が設けられましたが、今回は、新型コロナウイルスの影響に配慮してか、御影堂と外縁合わせて千四百席の参拝席でのお勤めです。

親鸞聖人の御誕生は承安3年(1173年)5月21日、公家・日野有範の長男としてご誕生になりました。だが、母は男の子ばかり続けて4人生まれた後、まもなく亡くなってしまいました。また、日野氏は宮仕えの身ながら、出世コースから外れて隠棲されてしまい、親鸞さまの弟君たちは伯父(または叔父)さんたちの養子にされました。亡くなる間際、母は親鸞さまの出家を望んでおられたということもあって、幼い親鸞さまは伯父さんに伴われて慈円・慈鎮和尚の下で出家得度されました。その時、「もう夜も遅いので式は明日にしよう」と和尚が言われた時、幼い親



鸞さまが詠まれたのが「明日ありと思ふ心の仇桜 夜半に風の吹かぬものは」というお歌でした。そこで、早速夜半、得度式が執り行われ、「範宴」(はんねん)という法名が授けられたのです。さて、ご誕生から50年後(実際には51年後)の立教開宗とは、法然門下として念仏門の研鑽を積まれた親鸞さまが、流罪地の越後から関東に移られて以降、執筆を続けられた主著「教行信証」の草稿が一応出来上がった元仁元年(1224年)の時を以て表され、御誕生の50年後に併せて慶讃法要を真宗教団連合で決められお勤めされるのです。尚、この御本典「教行信証」(全六巻)は京都に帰洛後まで筆を入れられ、聖人74歳のお年に完成されました。我々が日頃お勤めさせて頂く「正信念仏偈」は第一巻末にあります。

長年心血を注いで完成された「教行信証」の内容を、七五調の今様形式で表そうとされたのが「浄土和讃」「高僧和讃」です(聖人76歳の御執筆)。
84歳の善鸞事件の後、「執筆の「正像未和讃」をも共にお勤めさせて頂く

のは更に二百年後の蓮如上人の開版によるものです。

聖人の御苦勞の結晶たる「正信偈・和讃」をお勤めさせて頂くことにより、多くの念仏者が輩出されました。

亡父は往生の二日前、「親鸞さんに、遇えてよかった」とうわごとのように言いました。苦勞の多い人生でしたが「親鸞さま(の教え)に遇えてよかった」と真実の生まれ甲斐を教え、示してくれました。多くの先人たちを偲びつつ、ご本山にお参りしたいと思えます。



★ 写真アラカルト ★



☆行事ご案内☆

- ◇4月門信徒会例会 4月16日(日)午前8時半
新旧行事様必ずご参加下さい。
新年度行事長、会計を決めます
- ◇三全仏教婦人会主催《降誕会&初参式》
4月15日(土)午後1時 光念寺様で、
講師：加藤幸子先生
- ◇三全仏教婦人会《総会》3月20日午前9時より
善正寺で新役員紹介、行事・会計報告等
- ◇善正寺門信徒総会 5月14日(日)午前10時
持ち帰り弁当有。参加出欠取ります
- ◇ご本山法要バス参拝 5月21日(日)
午前6時半、旧小杉ローソン前出発 17名参加
午後には宇治平等院観光、詳細は参加者へ連絡
善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索
過去16年間分毎月の寺報閲覧可能、ブログ
毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」大好評、
15年毎日更新で40万2千訪問、悩み相談可
5時の鐘撞年中無休、誰でもOK子供達に開放
一線会テレホン法話 ☎059-354-1454
新納骨堂後継者がいない人、墓でお困りの方相談を
法事場所法事場所でお困りの方、本堂使用可
三重組連研オンライン会場 4/27、6/27、9/27
11/27の夜4回使用、仏教に関心のある人歓迎

坊守り

坊守スケッチ

最期まで「生ききる」とはどんなこと?

先月毎日新聞で『透析と共に生ききった父』という投稿記事を見ました。

父は83歳で人工透析を受け始め、週3回、一回4時間の透析を受け続けて数年前に99歳で亡くなりました。書家であった父の遺品を整理していたら、大きな紙に薄墨で「透析と共に生ききる」と揮毫。初めは「生きる」と読めたのですが、よく見ると「生ききる」。

その瞬間涙がこぼれました。「こんな気持ちで16年も人工透析を受け続けたのだ」と。文字を見て初めて父の決意が分かり、いろいろな場面が去来しました。治療の時間は読書と決めて本を持ち込んだ事。「人工透析を受ける」と長生きするようだ」と笑っていた事。文字通り見事に生ききった父は、決意を全うした姿を私に残しました。人工透析は大きな負担ですが、治療を受けている方にエールを送りたいです。

この投稿を読んで、あなたはどんな感想をお持ちですか?高齢者の中には「長生きなんかしたくない。長患いするよりもポックリ死にたい」という人が多いそうです。誰しも人の世話にならずに、苦しまずに死にたいと思うのは当然ですが、自分の思い通りの最期を迎えられないのが現実です。

ところで小杉町の三全仏教婦人会の名前の由来は「社会」と「家庭」と

「自分」の三つを『全うする』ことです。この『全うする』ことが『生ききる』に繋がるのです。現代人は権利を主張するが、責任と義務は回避しがちです。他人の迷惑をも顧みず、自分さえよければの自己中心的な生き方を貫き、苦難の多い道を選んできて、自らを甘やかす楽な方向へ流されがちです。

投稿者の娘さんのように亡き父から「生ききる」姿は受け取れません。「相続」の「相」は「すがた」という意味です。決して財産や土地を親から譲り受ける事ではなく、親が「生ききる」姿を子供に見せることです。私達も苦難の多い人生を諦めずに、生ききる親になりたいと思います。

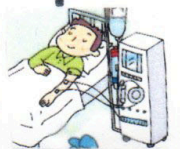
私達も苦難の多い人生を諦めずに、生ききる親になりたいと思います。

ホットニュース

※埼玉県K様夫妻(佛法広まればなん舎様より、三重組十三日講と永代経に参詣出来ないの、築地本願寺煎餅と築地の冊子、華把等お念仏真心便を多数ご恵送頂きました。感謝申し上げます。※十三日講と永代経等の準備とお手伝いを行なう様、世話方様に大変お世話になりました。有難うございました。

寺報カンパありがとうございます

栗本洋子様(四日市市)・尊い御芳志に感謝申し上げます。合掌。



坊守の子育て日記No.99

四月は学校などの教育現場、職場においても新年度です。PTAや自治会の役員決めにドキドキしながら参加された方もいらっしゃるでしょう。

かく言う私も子供育成会の会長を引き受けました。四月には長男は六年生。役員になることは前から承知していましたが、やるなら会長をやってみようと思いついて引き受けました。

どの団体も人数が減って、役員や委員のなり手探しが大変と聞きます。我が育成会も加入者は減る一方で、数年後は解散かもしれません。大人の一人存で解散して良いのか、決断するにも時間がかかりそうです。

ある東京都の小学校では、アンケートで保護者の98パーセントがPTAの解散に賛成し、今年度で解散が決定。ただ繰り返すだけの活動が本当に子ども達のためになつていないのか、と会長を五年間務めた方が感じたそうです。今後は、保護者の協力が必要なのは、行事にはボランティアを募集し賄います。「やらされている」のではなく、「必要だからやる」の方が保護者も参加しやすく、理想の形だと感じました。このような新しい一歩を踏み出した団体に倣って各地で解散するところが増えそうですが、地域全体が無理なく子ども達を見守っていかれたら素晴らしいことですね。



俳壇

野菜畑冷気遮断の覆いかな 釋妙水
診察券一枚増えて冬の雨
古毛糸結びてセーター編みにけり
一山をうならせ揺らす春嵐 釋楽邦
雛飾り今年は賑やか勢揃い
海女小屋を包む磯の香鳥羽の春
葉脈に甘さがにじむ桜餅 釋住安
ぎゅっしりとおしくらまんじゅう石榴かな
吊し柿時々揉んで形良く
ふたり居のテレフォン法話春の月釋普教
蟻出でて意思あることし散りじりに
春の屋カルポナーラの黒胡椒 釋秀龍
冬夕焼大縄跳びの掛け声よ
校庭へかけたす僕ら春の空
山道を回り道して探梅行 釋清風
強東風や会話途切れる顔と顔
嫁ぐ娘の行方願いつ雛飾る

★ 編集部より ★

「善正寺だより」352号をお届けします。◇マスク自由になつての卒業式写真に笑顔、涙の若者たち。漸くコロナ終息の芽が見えてきたようで、ご本山の850・800慶讃法要には有難き朗報です。◇五十年前の親鸞聖人ご誕生八百年慶讃法要の頃は、三重組の末寺でも皆大法要をお勤めし、春先の週末は毎週のように法要出勤させて頂いた。だがそれは「今は昔」。過ぎ去った昔を懐かしむだけでは空しい。◇「遇えてよかった、親鸞さま」の慶びを子や孫に、そして周りにつながり合いながら有縁、無縁あらゆる方々に伝え、伝わる努力を重ねたい。合掌。

春は出会いと別れの季節です。卒業式や入学式など新たな人生が展開します。人生百年時代、幾多の出会いと別れを繰り返しながら人は学び成長します。その出会いにも近年大きな変化があります。実際の対面ではなく人口知能（AI）が相手を探してくれます。マ、キングアフリで自分の条件に合った人との出会いです。簡単に出会えそうですが、ウソの情報も多く嫌ならば、さ、と別れるそうです。ところで昨年秋からチャットGDPというAIが登場して、2カ月で億人のユーザーを突破しました。将来これは仏教にも大きな影響を与えそうです。例えば「エロナ福における私達の苦しみをつつぐならばどのような教えて下さいますか」という質問に「人々の苦しみの原因は欲望や執着や無知だから、これを取り除き心安らかに過ごさすように自己変革をすること」と、誰にでも通用する教科書的模範解答だと予想します。しかし以前ある先生が「仏教は鉄砲の反対。鉄砲は他人を殺す為の道具だが、仏教の言葉（玉）は自分に向けて放つ。つまり自分が変わるれば相手も変わる。仏教は誰にでも合う既製品ではなく、人それぞれ違ったオーダーメイドの教えたよ」とお説き下さいました。人工知能では解決できない一人一人の悩みを寄り添い心を軽くするためにお寺で法座が開かれていられるので、皆様の悩みをお聞かせ頂き、一人一人に寄り添える坊守でありたいと思います。お寺の門は常に開かれています。お気軽にあなたのお悩みをご相談下さいませ。メールでも電話でも承ります。

令和五年四月

善正寺坊守 拝

合掌